



ロータリーの
マジック



Rotary 茂原中央ロータリークラブ 会報



会長 飛留間和紀



幹事 中村 健太

クラブ 創立 1993. 1. 12
 例会日 毎週火曜日/点鐘 12:30
 例会場 茂原卸団地組合会館
 事務局 TEL 0475-26-1515
 FAX 0475-26-1516
 Email mobarach.rc@gmail.com
<http://mobarachuo-rc.com>

- ★ ステファニー A.アーチック RI 会長
- ★ RID2790 寒郡 茂樹 ガバナー
- ★ 第7グループ 古西 弘和 ガバナー補佐



第 33 巻 通巻第 1416 号 第 12 号 例会通回 第 1421 回

★ クラブ会報委員長 新沢 弘樹 ★ 副委員長 仲井 琢磨

本日の例会プログラム

令和 6 年 9 月 24 日

(基本的教育と識字率向上月間 /
ロータリーの友月間)

*** 夜間移動例会 ***

点 鐘 飛留間和紀 会長
 ソ ン グ それでこそロータリー

会長挨拶 飛留間和紀 会長
 幹事報告 中村 健太 幹事

委員会報告
 ニコニコ

出席報告 担当委員会
 閉会ソング「手に手つないで」

会長挨拶 飛留間 和紀 会長

みなさん、こんにちは。先日は、小沢会員ガバナー補佐セミナー大変お疲れさまでした。

また居村エレクト、RLI の出席お疲れさまでした。

小沢会員、また居村エレクトには他の機会に是非、会議、講義のお話をさせていただきたいと思えます。宜しくお願い致します。

さて知らない方もいると思えますので説明しますと、RLI とはロータリーリーダーシップ研究会の略で、堅苦しい言い回しになりますが、世界や日本で積極的に取り入れてありますロータリー意識向上のための、ディスカッション参加型研鑽プログラムです。

ロータリー組織の基礎知識を広め、ロータリーの理解を深め、ロータリアンとしての意識を高めるこの対話手法はクラブ内や会社、地域社会等の色々な会合でも広く多様性を持って活用できるという事です。

私も 3 年前、前前年度に RLI に出席しましたが、非常に良い経験をさせて頂きました。

私の時は、参加者は 2790 地区の各クラブから年度によりますが 80 人ぐらい集まり、各クラスに 7 人ぐらいずつ分かれてディスカッション形式で講義があります。地区の方、また委員会のメンバーの人がファシリテーターになってそのパートに対する質問、お題を提出してくれるのでその質問に対してみんな話をします。

その各パートといいますが、例えば現在当クラブでも各委員会を設置していますが、例えば社会奉仕に関して例えば財団委員会に関してなど各分野についてのディスカッションがあります。

自分のクラブがその委員会で何をしているのか？誰の為にそれはあるのかなど、掘り下げて話をしていきます。自クラブを見つめ直すには本当に良い機会になります。

9月17日例会

会員スピーチ



居村龍二郎 会員



正林宏平 会員



また RLI のセミナーは全部でパート 1 からパート 3 までセミナーがありまして、最後に卒業コースがあります。

1 回の講義が 10 時から始まって 17 時 30 分までみっちり講義があります。

終わるころにはへトへトになっていたのを、覚えています。

昨年度は中村幹事が受講して頂き、今回が居村エレクトと受講して頂き本当にありがたいです。また、そんな大変な講義ですか、素晴らしい仲間との出会い、また自分の知識向上など参加して本当に良かったです。

その時、一緒に RLI に参加した仲間と今でもなお仕事でお付き合いをしたりロータリーの事で相談があったりと、お付き合いが繋がっております。

まだ参加していないメンバーの方、また今後会長さん、幹事さんになる方は率先して受講して頂き、ロータリーの知識また外から自分のクラブを見てみるのもいいと思います。

どうぞ宜しくお願い致します。

幹事報告

中村 健太 幹事

●地区 (回覧)

- ①ロータリー米山記念奨学会より、ハイライトよねやま 294 号
- ②ロータリーの友委員会からのご案内書及び 9 月号と 10 月号の友誌目次

●例会案内 (回覧)

特になし

●会報受信 (回覧)

特になし

●その他 (回覧)

特になし

委員会報告



親睦活動委員会

生松 大典 副委員長

親睦委員会副委員長の生松です。来週の夜間例会と親睦ゴルフの詳細を今日皆さんのラインにお送りしたいと思います。

当日の受付が 8 時～8 時 45 分ということですので、受付の方は 7 時 45 分集合でお願いします。後は皆さんゆっくり来ていただければいいと思います。

外部卓話

「茂原市の今後の取り組みについて」



茂原市

市長 市原 淳 様

皆さん、こんにちは。本日は茂原中央ロータリーの卓話ということで貴重なお時間をいただきましてありがとうございます。

只今ご紹介をいただきました茂原市長の市原でございます。日頃より市政全般にわたり皆様方にはご理解とご協力をいただいております。改めまして御礼申し上げます。また昨日は神輿で大変お世話になったメンバーの方々ありがとうございました。私からは市政全般と今後の茂原市をこういうふうにしたいなとかのお話を少ししていきたいと思っております。

よろしくお祈りします。

まず第 1 に先程もお話しましたが、昨年の神輿渡御が中止になった原因は水害であります。コロナ明けで 4 年ぶりに行われるということが中止になった訳ですけれども、今年は 5 年ぶりに神輿も出来て七夕も昨年と同様に出来き、やはり茂原と言えば企業城下町ということで地理的などころでも人口が 8 万 6 千いるというのは従来からの企業城下町であったという恩恵が大きいと考えています。これから人口減の中で茂原市を発展させるためには水害というものを払拭しなければ経済的にも人口減に繋がってしまうかなと考えています。

今日初めての方もいらっしゃると思いますので私の生い立ちを申し上げます。

私は茂原で生まれて茂原で育ち、高校まで茂原におりました。茂原の駅前周辺に元々いますので、水害や竜巻被害に会った同級生も多くいましたので間近に見てきました。実家の近くは阿久川という一宮川の合流手前の一番危ない場所に位置しております。

この阿久川は少し雨が纏まって降るとすぐ増水します。これくらいで増水してたら、ちょっと纏まったらすぐ溢れるなっていうのを小さい頃から見続けてきました。

ご承知のように私の家業が薬局でしたので、いろいろありましたけれども私も薬剤師として地域貢献できればということで 30 前位に茂原に帰ってきました。大学病院とか診療所ですとか薬局と一通り回りまして茂原に戻りました。茂原に戻って薬局を継ぐということが半ば強制的に決められていたこともありまして、いろんな経験を短時間に積んで茂原に帰ろうということで、卒業してすぐ就職せずに 1 年間東大

病院で研修をやりまして、一通りの病院業務を日本で一番大きいところに行こうという目標でやりました。そこで勉強させていただいて、その後東京証券場のすぐ近くにある診療所にも行ったんですけども、そろそろ薬局に行ってみようってことでそこをすぐ退職して、折角なんで日本で一番大きい薬局に行ってみようということで、今はどうか分かりませんが西新宿の東京医大病院の前にあった薬局が 1 日平均患者数が 1,300 人、登録の薬剤師が 60 人。そういったマンモス薬局で約 3 年間働かせて貰いました。そこでいろいろ学んで茂原に戻って来たんですけども、茂原に戻ってからは地域活動もせずに仕事ばかりしてしまっていて、なかなか交流会のようなものは得られなかったんですけども、そうした中でこの地域の医療問題といったものにぶち当たり、地域に対しての課題を 40 過ぎて感じるようになってきました。

これからこの地域が生き残っていくためには、水害のない医療のしっかりした、そして尚且つ、千葉県でするので道路整備されて地域交流が図れるような地域でなければいけない。

この 3 本が私の課題と言いますか懸念事項になりました。

この 3 つの分野の担当が市ではなく千葉県の主な事業になっておりましたので、県に行って地元の為に働きたいということで県会議員として出馬させていただいたという経緯になります。

その後県議会議員 2 期目に入ってすぐ先日の市長選に出たんですけども、やはり令和元年の水害というものが非常に大きくて、県議会に送っていただいて半年で水害が出てしまっていて、水害対策はこれからというところで、あのような大きな水害になりましたので、抜本的にこの短期間で自分が成果をあげるには何ができるのか。

皆さんご承知のように公共事業は大変な予算と時間がかかりますので、その間に何ができるのかと言って、すぐ取り組んだのが今いろいろメディアでも出てますけども、田んぼダムという早期に安価で取り組めるといって水害対策でした。これは新潟県が先進でして一人で新潟に行き早速教えを乞うて戻って来て、そこから県議会ですべて訴えさせていただきました。そんな中で昨年 9 月 8 日の水害というものがまた発生してしまいました。

令和元年の水害で激甚災害に指定されたので、いま茂原市は 150 億を超える予算で河川工事進んでおり今年度で終了します。

約 4,000 戸の水害被害があったものが 2,000 戸に減りました。降水量はかなり多かったんですけども、そういった意味では成果も出ていますが、まだまだ課題も多く残っております。

こういう中で茂原市が動き出して行く対策というものがまだ限りなくありましたので、そういったところを争点に県から市に戻って仕事をしようと言ったのが経緯になります。

今回その田んぼダムを私が県議会ですべて訴えておりまして、知事もそうしたところを理解して今年度予算で田んぼダムの取り組みに少しですけれども予算化されました。

田んぼダムに一宮川と本納を流れる赤目川、南白亀川水系と白子から南白亀川と作田川との 3 水系に限って取り組んだら補助してあげるよというメニューで、早速市長になって 6 月の補正予算で田んぼダムの推進ということで少しつけさせていただきました。

まだまだ道半ばで今約 50 ヘクタールの田んぼダムの取り組みで、私が増やすのは 10 ヘクタールにも今年度はいかないんですけども、多くの農業者さんと話し合いをしながら進めていきたいと考えています。

よく「田んぼダムって何なんだ」って皆さんに言われるんですけども、皆さんご存知のように上茂原にガッツというスーパーがあって、その裏に県が大きい池をもう一個作りまして、第 2 調節池の増設分ということで 40 万立米、既存が 70 万立米ですので左右で 110 万立米ということでほぼ完成したんですけども、この 40 万立米を作るのに地上げから始まって建設からそして期間と、とんでもないお金と時間がかかっているんですけども、これを田んぼダムで補完するには、元々田んぼの畔の高さがありますけども 30 cm 平均のところ 20 cm に取り組んでもらって約 200 ヘクタール取り組んでもらえればピッタリ 40 万立米になる。簡単なんですけれどもやるのは非常に厳しいところもあるんですけども、茂原の登録の水田の面積が 2,000 ヘクタールです。実際に稼働していると言われてるのが 1,400 ヘクタール。この内の 200~400 位を取り組んでもらうとガラッと変わるかなと考えています。先程申しました通り河川工事は今年度茂原市区間は終わる予定です。

来年度からは長柄、長南に工事が移っていきまして、その調節池を長柄でも第 3 調節池、一宮川水系第 3 調節池は 50 万立米ほどのものを作るということで用地買収が始まっていますけれども、上流で降った雨をすぐに中流下流に流さずに上流で少し留め置いていただいて時間差で中流下流に流すと、その間に中流下流は自分達の所に降った雨を内水氾濫が起きないようにしっかり河川に流す。

流せない分は一時的に貯留する。このバランスを取りながら茂原市だけではなく長生郡市の河川に関わるところが越水しないように水害被害が出ないようにする。

流域治水とよく言われていますけれども、流域治水というものが一宮川流域治水プロジェ

クトで始まっています。全国でも早い取り組みで先進事例になっています。

今年度の県の予算の 4 割は一宮川に投下されており県も一生懸命やっていますということです。

田んぼダムを上手く取り入れて、川に一気に水が流れ込むのを一時的に補完してもらおう。その間に内水を川にポンプアップする余力を作っておく。そうしたバランスを構築して水害被害をなくすということです。

茂原市は昨年の水害で県の施工不備があったということで、いろいろ騒ぎにもなったんですけど、先日県の検証会議が終わって出た結果が想定を上回って越水しているという結果になりました。災害対策をした中でそれでも、八千代通り、大芝、アスモ周辺が内水が残るであろう。多少残ってしまうんじゃないかというシュミレーション結果が出ています。

茂原市が抜本的に行うことになる建設が今、設計に入っているものが八千代通りの手前とアスモ周辺なんですけれども、一応シールドで内水を貯める保水管を増設する計画で行っております。そうした施設をもっと作らないといけませんので、工事が入れるように予算取りをしていき結果的にはポンプアップもしないといけません。そうしたところでまだまだ予算も時間もかかるんですけども、その間に降った雨を補完してもらおうのが田んぼダムです。そうしたバランスを皆さんに理解していただけて進めていきたいと思っております。

昨日の台風 7 号接近時には、避難指示と避難所開設を早急にしたんですけども、これは科学的検知に基づいて皆さんに説明できるようにしなければできませんので少し申し上げますと、想定が 400 ミリを超えるということで昨年の 9 月 8 日より降るといって読んでいましたので、道路冠水が始まる前に皆さんに避難していただく流れになります。土砂災害も警戒区域ありますので、そういった方々に優先的に避難してもらおう。

皆さん冠水して歩いている方が多いんですけどもマンホールの蓋が飛ぶんです。そうすると大きな落とし穴が見えないところに幾つもあるわけで、実は冠水時に避難している死亡者が水害の中で一番多い死亡者と言われてます。冠水が始まったら避難はできないという認識で市民の方々にも早めに避難してくださいということで指示を出させてもらいました。あの時は、国交省が関東整備局で 3 台持っている排水ポンプを茂原に 2 機派遣してくれましてすぐ出動できるように茂原公園で待機してました。外房エリアをカバーすることで茂原に 2 機、木更津に 1 機と配備されました。

これは完全に国のプッシュ型支援で始まりまして、第 1 回の対策会議から県から約 3 人の情報伝達員と一緒に会議に参加して、市と県と国と連携しながら準備を進めています。避難所の充実ということで自民党も防災庁でいろいろ議論されていますけども、この避難所の開設というものが本当は必要ない。

ない方がいいんですけども、もし万が一地震水害があった時の避難所の設営ということで、AKBではなくTKBっていうのが言われています。Tはトイレ、Kはあったかい食事を提供するキッチン、Bはベッドですね。これを 48 時間以内に設置するのが目標ということで言われています。

石破先生が言っていますけれども、日本のように体育館の地べたに避難して寝かせるというのは先進国では日本しかない。イタリアは 3 時間で全て揃うと。ベッドとパーテーション、キッチンそしてワインまで出される。避難していただいた方を接待するくらいでないと駄目だということで、そうした先進国の取り組みを参考にしながら茂原も進めていきたいと思っております。

先日、本納地区で地域防災訓練を行いそういったところも多くやらせていただきましたので参考にさせていただければと思います。

また医療については、やはり茂原市は財政難と言われておりますけれども、長生郡市の広域で行っている事業や主要事業が多くその中には多額の予算 35 億から 40 億を茂原市から入っております。その中には医療というもので公立長生病院の運営があります。市町村負担が約 5 億です。赤字が 1 億という中で医療を行っているんですが、B棟の老朽化も進んでおりますので建て替えも必要となってきます。今後どうするのか今いろいろな医療業界の方、知事含めた県ともいろいろ相談しているところであります。

また、最終処分場の建設がありますが 3 年先延ばししている状況であります。

今、最終処分場を長柄に建設しておりますが、約 80 億以上かかっておりますけども、これが耐用が 15 年から 20 年位です。満杯になってまた新たなものを作らなくてははいけない。そういうイタチごっこと言いますか、やはりゴミはどうしても出るものなんですけども大変な予算がかかっております。

3Rと言いますのでゴミの削減。そして茂原市は袋が高い。よく言われてますけれども、いろいろな矛盾点や論点があると思っておりますので、そうしたところも丁寧にこれから進めていきたいなと思っております。

東京も最終処分場を埋め立ててやっておりますけども、いっぱいになるんでゴミを有料化しようという動きが出ています。

立川市はもう有料化して 15%か 17%位ゴミの量が削減できたそうです。私も含めて現代人は以前と比べて生活レベルと経済レベルが上がっておりますのでゴミの量もかなり増えていると思います。皆さんの意識の变革で変わってくると思いますので、これからお話を進めていきたいなと思います。

そしてあとは経済です。最後はやはり何をすることもお金は必要です。茂原市は財政難でお金がないという意識が皆さんの頭の中に根付いていると思うんですけれども、私はお金が無いというのは禁句にしようと思っていて、お金がないなら集めてくるしかない訳です。そうした取り組みをいろんな方面から進めていきたいと思っています。やはり、ふるさと納税というのが一番各自治体の差が出ておまして、数年前は勝浦は 55 億、その主だった工場が今度はいすみ市に移転してしまったので、いすみ市が 25 億位ガツと今度は上がりました。

茂原市はまだ 1 億ちょっとで 2 億にまだいかないんですけれども、売れるものをどんどん発掘して売っていく。物でなくても文化的なものですとか歴史的なものですとか。

そういったいろんな取り組みと、もしくは七夕ですとか先程の神輿ですとか、そうしたものと連動させることは出来るんじゃないかと。そうした広がりをもっと進めたいと思いますので是非皆さま方にも協力していただいて、いろんないい案があればご提示していただいたり、あとは企業版ふるさと納税というのがありますので是非よろしくお願ひしたいと思います。

私がよく言っていますが圏央道があと 2 年で全線開通県内します。そして成田航空が約 5 年後に今の 1.5 倍に機能拡張します。第 3 滑走路ができて B 滑走路延伸ということで発着回数が約 1.5 倍大きくなります。雇用人数も、もう 3 万人以上必要だと言われております。7 万から 8 万必要なところ今は 3 万位しかいないかと思っておりますけれども、そうした意味で茂原から成田ですと高速で 40 分位で行くことができる。成田空港の周辺は皆さんご存知のように企業立地がかなり進んでまして、県としても法改正までしてどんどん呼び込んでいる状況です。

やはり物流となると競合する、そして距離が少しある、そして途中から片側一車線になるというリスクがありますので、茂原にとって物流をこれから増やしていくのはどうなのかって議論もありますけれども、やはり企業立地を進めたいとは思っております。

関連インターチェンジが長南も含めると 3 つありますが、インターチェンジ周りはまだ農地が多い訳です。そうしたところ農業は必ず守らなくてははいけませんけれども、時代に合わ

せた開発も同時に進めていく。産業用地の確保を市の方で指示出しました。今、調査も入ってますのでこれから進めていきたいと思ひます。やはり企業城下町で始まった茂原市ですので、各方面の企業の方は茂原というキーワードは意外と認知されてまして、その中で、いろいろ税収アップ、雇用そして人口増と。そうしたところに繋げていければなと思ひます。

最後に一つ、稼ぐところってというのは、今いろいろ発掘して探しているんですけれども、公有財産である茂原市の土地が上手く利用できていない部分がまだまだたくさんあります。

学校の跡地、旧図書館は売れましたけれども、これまでプロポーザルやったり、サウンディグやったりという中でなかなか進まない。スピーディーに進めるためには、やる気のあつて提案をしっかりと持った民間さんが来るのであれば、そうした方々と公平性は保った上でですけれども、話をスピーディーに進められるようにということで、民間提案制度を作りまして、やる気のある業者さん民間さんからどんどんお話をいただいて市に提示していただいて進めていく、そうした話を進めています。

ひめはるの里もその一つでありまして、グリーンラインが建設しておりますので非常に交通アクセスの容易な場所にこれから変わっていきます。そうしたところもチャンスと捉えてやっていきたいと思ひます。

話が纏まりませんが以上のテーマ 3 つ 4 つを大きな市政課題としてこれから取り組んでいきたいと思ひます。何より市民の皆様の意見をいろいろ伺って一緒にやっていきたいというのが私の理想ですので、いろんなところで機会を見つけてお話ししていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。ご清聴ありがとうございました。



ニコニコ

飛留間 和紀 会長・・・市原市長、本日は卓話ありがとうございました。茂原市のため、今後ともよろしくお願ひいたします。
神明 重美 会員・・・先日はビルオープンに際して多大なる御厚志ありがとうございました。皆様に愛されるビルにしていきたいと思ひますので、これからもよろしくお願ひいたします。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

四つのテスト

職業人としてのロータリアンの心構えを、ロータリーの倫理基準から具体的に記述したものが「ロータリー倫理訓」だとすれば、それをロータリアンのみならず一般の職業人にも理解できるように、簡潔かつ的確にまとめたものが「四つのテスト」です。ハーバート・テラーは、倒産に瀕していたクラブ・アルミニウム社の社長に就任し正しい営業活動を行えば必ず会社が再建できると考え、「四つのテスト」を示しました。同社の業績は改善を続け、5年後には借金は完済、15年度には株主に多額の配当金を分配するまでになりました。

1954年、彼がRI会長に就任したとき、その版權がロータリーに寄付されました。

四つのテストは世界各国の言葉で翻訳され、広く活用されています。

(わかりやすいロータリー (第3版) より)

ロータリーの五大奉仕部門と
最新のロータリーの樹

1. クラブ奉仕部門 (Club Service)
2. 職業奉仕部門 (Vocational Service)
3. 社会奉仕部門 (Community Service)
4. 国際奉仕部門 (International Service)
5. 青少年奉仕 (Youth Service)

出席報告

例会日	会員	出席	MU	欠席	免除	出席率%
9/17	29	22	3	4	0	86.21
9/03	29	19	0	9	1	67.86

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920 (大正9)年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハルスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,194、会員数81,796人(2024年6月末現在)となっています。

